

このお二人は
私の仕えるお方

ねえ

少し歩き疲れたわ…

うん…

良家の子女で年の近い
姉妹のお二人はいつも
仲良しで微笑ましい…

ちょっと気が強い
性格のお姉さんと

無口で気弱な
正確の子が妹だ

お二人は私のことも
気に入ってください

いつでも私をそばに
置いて甘えてくれる

では少し休憩
いたしましょうか

うん…
人のいないといい…

それにそれ
だけじゃなく…

お二人は
いつでもどこでも

お嬢様…

いけませんよ
…こんな場所で

…どうして？

疲れた私たちを
癒して…

ゆる…

ギッ
ーゆう…

お願い

場所を選ばず私を
求めてくれるのだ…

嬉しいけれど
心臓がもたない…

ちょっとだけ
だから…

…しよ？

ただどうしていつも
私に甘えてくれる
お二人が可愛過ぎて…

お二人の
望まれることには

...もう

本当に少しだけ
ですからね...?

ドキドキ...

ん、
ちゅう...

ちゅう...

ん、
ん、
ん...

ちゅる...

あ...

ん

いっだって何だって
応えてしまう...

少し触れるだけで
いつもより感じて
るのが伝わる...

すごくいけない
ことをしてる...

んあっ
ん...

ちゅう...

んちゅ
ちゅ...

びん

そんな背徳感が
私を支配して
止まらなくなりそう...

どうぞこちらへ…

…うん

ん
あ

ちゅっ…

あ

あどけなさ
色っぽさが混ざり合う
吐息と声…

んあ…

びん

あ

ふふ…

いつもより
敏感ですね…?

そんな反応の全てが
甘く私を誘惑して…

ちゅ…

んちゅ
ちゅっ

あ

ん

ん
ちゅ

もど
もど…

もっとお二人の可愛い
ところが見たく
なってしまう…

ちゅる…

もう少しだけ…
時間が許す限り
こうしたい…

いつでも私を可愛らしく
求めてくれてたさんの
癒しをくれるお二人…

もうちょっとだけ…

ん…
んちゃ…

ちゃ…

ん…
ん…
ん…

ふふ…
お二人とも
甘えん坊ですね…

そんなお二人にご満足
いただけることが
私にとっての一番の幸せ…











